

演題

ゲノムから見る乳がん細胞の不均一性と進化 ～現状と将来の臨床応用への展望～

講師

京都大学大学院医学研究科 乳腺外科学

准教授 佐藤 史顕 先生



講演要旨

21世紀になりヒトゲノム読了と高速シーケンサーの登場により、がん細胞内のゲノム情報が急速に蓄積されるようになった。がん細胞には発生初期から遺伝子異常があり、がんの進展に伴って蓄積・変化し、都合のいい変異を持つがん細胞が集団の中で優勢になる。この現象ががん細胞の進化である。この現象をどう捉え、如何に臨床に応用するのか？組織からリキッドバイオプシーでの解析まで、がんゲノム解析の現状と展望を概説する。

プロフィール

平成3年に京都大学医学部卒業、同大学付属病院腫瘍外科、高松赤十字病院外科にて研修医として勤務。平成12年4月より京都大学医学部付属病院腫瘍外科に医員として勤務。同年、京都大学院医学研究科を修了。平成12年11月から米国メリーランド大学消化器内科 (Stephen J. Meltzer 研究室:ポスドク) 食道がん、潰瘍性大腸炎随伴大腸がん等消化器固形がんの、マイクロアレイ解析、DNAメチル化解析。平成12年11月からは同大学Meltzer研究室の客員助手となり食道がん、潰瘍性大腸炎随伴大腸がん等消化器固形がんの、マイクロアレイ解析、DNAメチル化解析、siRNAを用いた食道がん遺伝子治療の開発。平成17年に同大学助手、また消化器内科助手 (Meltzer研究室) に就任。平成18年7月から米国ジョンス・ホプキンス大学消化器内科 (Meltzer研究室:助手) 食道がん、潰瘍性大腸炎随伴大腸がん等消化器固形がんの、マイクロアレイ解析、DNAメチル化解析、マイクロRNA解析。

平成19年10月から京都大学大学院薬学研究科寄附講座ナノバイオ医薬創成科学講座 (准教授) mRNAとmicroRNAマイクロアレイのがん臨床応用に向けた橋渡し研究、網羅的エピゲノム解析。

平成23年4月から京都大学医学部附属病院乳腺外科 (研究員 (産官学連携)) 乳癌のエピジェネティクス解析、microRNA発現解析。平成25年7月から京都大学大学院医学研究科乳腺外科 (准教授) 乳癌に関する genomics, epigenetics, transcriptomics 研究とその臨床応用。

2004年、米国消化器病学会、カステル臨床食道病研究賞 受賞

◆がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。

◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっています。

◆本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目 (規定の8) に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。

お問い合わせ：福島県立医科大学教育研修支援課 がんプロフェッショナル養成支援室 TEL：024-547-1095 E-MAIL:ganpro@fmu.ac.jp

平成28年度 第8回 臨床腫瘍セミナー
日時 平成28年12月20日 (火) 18時00分～19時00分
場所 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室